

遠賀町農業委員会通信

第 6 号
平成 27 年 10 月 1 日発行
＜発行責任者＞
遠賀町農業委員会
会長 三原 高志

農業委員会はどうかなる？

農業委員会等に関する法律の改正

農業委員会等に関する法律の改正を含む「農業協同組合法等の一部を改正する等の法律」が8月31日に参議院本会議で可決され、9月4日に公布されました。

この法律の改正で農業委員会委員の選任方法を公選制から町長による任命制へ移行、農地利用最適化推進委員の新設など農業委員会を取り巻く状況は大きく変わろうとしています。

改正の中で「農地等の利用の最適化」が重点項目として位置づけられ、次の3点が明記されました。

- ① 担い手への集積・集約化
- ② 耕作放棄地の発生防止・解消
- ③ 新規参入の促進

今後、詳しい内容が政省令で明らかにされますが、農業委員会が農地利用の最適化をより良く果たせるよう動向を注視していく必要があります。



農業委員活動紹介



7月12日から14日まで全農山形県本部と山形県農業総合研究センターへブランド米「つや姫」について視察研修を行いました。

山形県では厳しい基準の中で認定を受けた生産者だけが栽培できる特別栽培米「つや姫」のブランド化に県をあげて取り組んでいて、平成22年の発売以来、5年連続「特A」を受賞するなどの実績を残しています。

県を筆頭にJA市町村が一体となって行う取り組みは生産農家の所得向上に繋がっていました。生産数量と価格変動、栽培基準の管理など改めて米のブランド化の難しさを痛感するとともに、山形県とは規模は違うものの、遠賀町の「夢れんげ」も山形県と同じように生産農家の所得向上に繋げるべく特別栽培米の取り組みを行っていることから大変参考になりました。



JA北九青年部遠賀支会

2015 かがしコンテスト



10月25日(日)に遠賀町中央公民館前の田んぼで「2015遠賀町かがしコンテスト」が開催されます。

昨年に引き続き、JA北九青年部遠賀支会が企画したもので、小学生の部や一般の部で田んぼの守り神である「かがし」の出来具合を競うコンテストです。当日は、お気に入りのかかしに一票を投じたり、地元特産品の販売や地元農産物で作られた米麺や豚汁などを食べたり、農業にふれあう一日となること間違いなし！

ご家族揃って参加してみたいかがですか？



祝50回 農業祭 1月17日(日) ボートレース醒

50周年を迎える遠賀・中間地区農業祭。農産物や加工品の販売をはじめ、50周年を記念して地元農産物を使った調理の公開収録やミニライブも開催予定です。遠賀・中間地域の魅力再発見のイベントです！

加入しませんか？ 農業者年金に

農業者年金は農家の老後生活の安定を目的とした制度で、自ら積み立てた保険料とその運用実績により将来受け取る年金額が決まる「積立方式(確定拠出型)」を導入しています。また、支払った保険料は全額が社会保険料控除の対象となるなど税制面での優遇措置や一定の要件を満たす方には国から保険料補助があるなど、農家だけが利用できるメリットの多い安全・安心な制度となっています。

引退後の安心した生活のために、農業者年金に加入しませんか？

詳しくは農業委員会事務局まで。



がんばれ、新米くん！フレフレ応援団

知的派がつくる無花果！

まだ残暑が残る9月に無花果（イチジク）畑にたたずむ男が1人。虫生津在住の毛利智範さんはパソコンが得意な知的派農家。丁寧に栽培されたイチジクは、上品で自然な甘さを持っています。



毛利 智範 さん

5年目。農業を始める際、全国の農家が耕作する平均農地面積は1町3反でした。孝輔さんが耕作していた農地が同程度あったため、高い生産性で良質なものを供給すれば、農業で勝負できるのではないかと考えられました。

現在は、イチジク・米・ナス・春菊・花卉など幅広く取り組んでいて、直売所を中心に出荷しながら、農協の部会にも加入して栽培技術を磨いています。

イチジクは「とよみつひめ」を露地栽培しています。雨による収量の低下があるため、雨対策が課題となっているもの、今年も面積を1反増やす予定。今後は花卉類の充実やさらなる農地の借り入れも視野に入れて経営規模を拡大したいとのこと。



サラリーマン時代の経験からIT関係の強みを活かし、農業に関する作業スケジュールや経理についてはパソコンを利用して正確に管理されています。

智範さんは高齢農家の離農が今後増えていく中で、個人の力でどこまでできるかは分からないが、農業を志す若手が創意工夫することで持続可能な農業ができるのではないかと語られます。

法人化に関する情報も収集するなど、着実に歩みを進めている姿は、実の中に花を咲かせるイチジクのように、華は無くともあまーい未来が待っているに違いない。



遠賀逸品

2015シリーズ 今年も発売中

「遠賀町に特産品を」との思いから作られた遠賀逸品シリーズ。昨年の大好評に引き続き、味をさらに改良して発売しています。

遠賀町の特産品として町内の方はもちろん町外の方にも遠賀町の「おいしい」をお届けしていただければと思います。遠賀町のおいしい自慢の逸品を今年もお楽しみください。芳香の赤しそを使った赤しそドリンクは大好評で既に完売！

遠賀町で育った菜種「ななしきぶ」を直火焙煎し、添加物や化学薬品等を使用していない無精製の一番搾りピュア菜種油です。菜種の独特な風味をお楽しみください。



菜種油 270g 1本 1,000円(税込)

遠賀の大地で育った遠賀町のお米「夢れんげ」。厳しい栽培基準で育てられた安全・安心な特別栽培米です。袋のデザインも変更し、5キロに加えて新たに2キロも販売開始。秋の味覚をお楽しみください。



パッケージが新しくなった遠賀町のお米「夢れんげ」

遠賀町の特産品を全てセットにしたスパシャルセット。お歳暮などの贈り物にもピッタリな自慢の逸品です。



農地中間管理事業を 活用ください。

「規模拡大したいけど適当な農地を見つけれない」といった規模拡大を希望する農家と、「農地を管理する人がいない」と放置する農地を結びつけ、大事な農地を守るため、農地中間管理事業が始まっています。ご要望の方は農業委員会事務局までお知らせください。

農業相談を毎月実施しています！

就農、離農、農地の貸し借りや農地転用の手続き、あっせんなど農業委員がご相談にお応えします。ご相談のある方は、農業委員会事務局までお気軽にご連絡ください。

《編集後記》

毛利さん取材して、若い力で遠賀町の農業を盛り上げていただきたいと感じました。

〈安部喜美雄委員〉

若者が農業で食べていけるといふ姿を毛利さんに見せていただきたいと感じました。

〈加藤陽一郎委員〉